



2 学期、スタート！



児童達の元気な声が校舎内に戻って来ました。

さて、児童の学習や交友面の成長に大きな実りを期待する 2 学期がスタートしました。それに当たり、学校では、1 学期に引き続いての多種ある感染症予防、熱中症予防、そして、台風等の自然災害等への危機管理が欠かせないと考えています。コロナ禍 3 年間の経験に倣い、それらへの対策を万全に行う中で、児童達に自信や主体性を育む教育を 2 学期もしていきたいと思っています。そのために今学期も教職員で気持ちを揃え、ワンチームとなり、児童達の教育にあたって参ります。何卒、引き続きましての、本校教育へのご理解とご支援を、よろしくお願い申し上げます。

さて、下に『私はヘアゴム』という素敵な児童詩を紹介します。そして、それを受け、2 学期、皆に期待することを述べさせていただきます。

私はヘアゴム 私はかみの毛たちのリーダー いわゆる まとめ役
ブラシと協力しながら 大きなリボンを背負って 大きな頭の上を歩いて
今日も かみの毛たちを まとめるんだ



『安心できる環境をつくる』 ～ 2 学期、東豊台小の皆に期待すること ～

2 学期は運動会や校外学習など、学校で、学年で、学級で、すなわちチームで取り組む行事がいくつかあります。そこで皆さんにも、大切な心の持ち方として、『その人の心が、環境を決める。』という言葉を知っておいて欲しいと思います。例えば、行事に向かう時には、皆の心を一つにし、達成感を得ることが行事の成功、つまり個人や集団の成長につながります。しかし、もし他人の話に耳を傾けない人がいたり、大きな声にものを言わせて自分の意見を押し通したりする人が一人でもいたらどうでしょう。周りの空気が重くなってしまいます。これは、明らかに全体にとってマイナスです。だから皆さんには、①一人一人の違いを認める ②他者に優しさのある ③学習・生活にけじめのある そんな空気感を、是非、教室に作って欲しいと思います。加えて、④目上の人を尊敬する ⑤正直で誠実さのある ⑥いじめや差別を許さないなどの空気感もとても大切だと思います。

加えて皆さんには、環境に左右されるのではなく、環境をつくる人でいて欲しいと思います。安岡正篤という先生（先人）が言っています。『環境が人を作ることにとらわれてしまえば、人は単なる物、単なる機械になってしまう。人は環境を作るからにして、そこに人間の人間たる所以がある。自由がある。即ち、主体性、創造性がある。だから人物が偉大であればあるほど、立派な環境を作る。人間ができないと環境に支配される。』と・・・このような思いから、皆さんには、この 2 学期、「誰もが安心して生活することができる、そんな空気が満ち溢れる、学校、学年、学級、仲間[チーム]⇒【総じて社会】を作っていくて欲しいのです。先生、親⇒【大人】も同じです。皆で共に励み、安心感のある学校を、自分が主人公＝「ヘアゴム」になって、作っていきましょう。

◆お知らせ

この度、支援学級担任の ●● ●● 先生 が、8 月 16 日から 10 月 31 日までの期間、育児休業をすることになりました。つきましては、復帰するまでの間、代替講師として ●● ●● 先生が、本日、8 月 25 日から着任されました。よろしくお願い申し上げます。

